

トマツ人工林に天然更新している稚樹は皆伐したら育つか？

林業試験場 道東支場 中川昌彦

研究の背景・目的

- ・ 林床に稚幼樹が密生しているトマツ人工林がある（写真-1）
- ・ 上木を皆伐すると赤茶色に変色して枯れるとの言い伝えあり
- ・ 風害で上木が倒れたところでは、稚幼樹が旺盛に成長
- ・ 皆伐しても天然更新している稚幼樹が育つか試してみた
積雪時に林内に重機をほとんど入れずに材を持ち上げて木寄せ



写真-1

研究の内容・成果



写真-2



写真-3



写真-4

- ・ 皆伐から3ヶ月後：稚幼樹の葉が赤茶色に変色し（写真-2）その後に落葉した
- ・ 伐採後に開葉した葉は赤茶色せず深緑色になり、枝先についていた（写真-3）
- ・ 現在（皆伐から3年後）は健全な稚幼樹がみられる（写真-4）



写真-5



写真-6



写真-7

- ・ 側芽（写真-5）や側枝（写真-6）が立ち上がり、稚幼樹が旺盛な成長を開始した（写真-7）
- ・ 皆伐により天然更新している稚幼樹の成長を促すことができる

今後の展開

- ・ 皆伐しても稚幼樹が生残する条件の解明が必要—言い伝えと今回は何が違ったのか
 1. 搬出時に材を引きずり、稚幼樹を傷めた？
 2. 伐採時期が違った—夏に伐採したから枯れた？
 3. 赤くなったので観察せずに地拵え・植栽した？
 4. 稚幼樹の齢や更新箇所（土壌か倒木か）が違った？